この説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

鼻炎、花粉症、アレルギー性鼻炎に

DHC 漢方 小青竜湯（しょうせいりゅうとう）エキス錠

＜一般用漢方製剤＞

第2類医薬品

DHC漢方小青竜湯エキス錠は、中国の古典医学書「傷寒論（しょうかんろん）」「金匱要略（きんきようりゃく）」に収載されている小青竜湯のエキスを服用しやすい錠剤にした漢方薬です。うすい水のようなたんを伴うせきや鼻水がでる方のアレルギー性鼻炎、花粉症、気管支炎などの症状を改善します。

⚠使用上の注意

相談すること

1.次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

（1）医師の治療を受けている人。
（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
（3）体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
（4）胃腸の弱い人。
（5）発汗傾向の著しい人。
（6）高齢者。
（7）今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
（8）次の症状のある人。
　むくみ、排尿困難
（9）次の診断を受けた人。
　高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3.1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

4.長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

裏面も必ずお読みください。

■ 効能・効果

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

■ 用法・用量

次の量を食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

年令	1回量	服用回数
成人（15才以上）	4錠	1日2回
7才以上15才未満	3錠	
5才以上7才未満	2錠	
5才未満	服用しないこと	

【用法・用量に関連する注意】

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

■ 成分・分量

8錠（成人1日量）中

下記の成分及び分量からなる小青竜湯エキス（1/2量）1950mgを含有します。

成分	分量
マオウ	1.5g
シャクヤク	1.5g
カンキョウ	1.5g
カンゾウ	1.5g
ケイヒ	1.5g
サイシン	1.5g
ゴミシ	1.5g
ハンゲ	3.0g

添加物として、カルメロースCa、クロスカルメロースNa、無水ケイ酸、ラウリル硫酸Na、ステアリン酸Mg、セルロースを含有します。

【成分に関連する注意】

本剤は生薬を用いていますので、錠剤の色調が異なることがあります。

■ 保管及び取扱い上の注意

1.直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
2.小児の手の届かない所に保管してください。
3.他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
4.使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
5.ビンの中の詰め物は、輸送中の錠剤の破損を防止するために入れてありますので、開封後は取り除いてください。
6.本剤にぬれた手で触れないでください。また、手にとった錠剤を元の容器にもどしますと、他の錠剤に影響を与えることがありますので注意してください。

株式会社ディーエイチシー　医薬品相談室
tel.044-233-2029
受付時間 9:00~17:00（土・日・祝日をのぞく）

製造販売元　大峰堂薬品工業株式会社
奈良県大和高田市根成柿574

発売元　株式会社ディーエイチシー
東京都港区芝5-34-2

0120-333-906 www.dhc.co.jp